



Nippon Computer Dynamics Co., Ltd.

日本コンピュータ・ダイナミクス株式会社

第59期 中間株主通信 2023 4.1 ▶ 2023 9.30

---

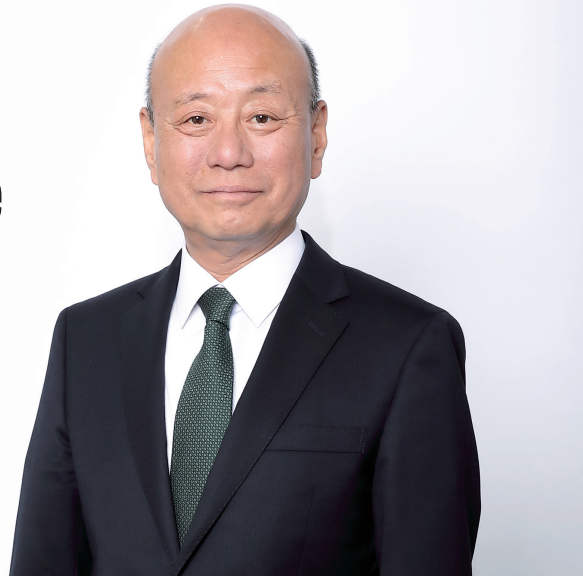
59<sup>th</sup>

# Change & Challenge for Smile

株主の皆様、平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。  
ここに当社第59期中間期(2023年4月1日から9月30日まで)の業績についてご報告いたします。

代表取締役社長

下條 治



## 業績

当第2四半期連結累計期間につきましては、IT関連事業(システム開発事業、サポート&サービス事業)において業務領域が拡大したこと、また、パーキングシステム事業において駐輪場利用料収入が増加したことなどにより、前年同期比で増収増益となりました。

以上により、当第2四半期連結累計期間の売上高は、11,904百万円(前年同期比11.5%増)、営業利益900百万円(前年同期比75.2%増)、経常利益907百万円(前年同期比73.6%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益は600百万円(前年同期比85.2%増)となりました。

## 配当

当期の中間配当につきましては、中期経営計画「Vision2026」(2024年3月期～2026年3月期)における新たな株主還元方針に基づき、連結業績等を総合的に勘案し、1株当たり16円といたします。

した。引き続き、株主の皆様への利益還元を経営の最重要課題の一つと位置づけ、安定的かつ継続的な配当を行ってまいります。

## 情報サービス業界の動向

当社グループの属する情報サービス業界におきましては、DXの進展に伴い、基幹システムのモダナイゼーション<sup>※1</sup>や、クラウドマイグレーション<sup>※2</sup>等への取り組みの加速が予想されます。当社の顧客企業においても、中長期の事業拡大を見据えた基幹システムの刷新や、セキュリティ意識の高まりなどを背景としたクラウドサービスの活用が進んでいます。また、IT人材不足の解消やBCP対策のためシステムの保守・運用業務等をアウトソーシングする動きが見られることなどから、今後もIT投資の拡大を見込んでおります。当社グループでは、引き続き人材育成や採用活動の強化などによる人的資本経営への取り組みに注力するとともに、中期経営計画「Vision2026」の主要戦略として、ITフルアウトソーシングの推進による既存顧客の領域拡大および新規顧客の獲得などに取り組んでおります。

## 駐輪場業界の動向

駐輪場業界におきましては、各種規制の緩和などに伴い外出機会が増え、駐輪場の利用が増加しています。しかしながら、働き方の多様化に伴う行動変容など、今後も外部環境に起因するリスクが懸念されるため、環境変化や需要変動に柔軟に対応できるビジネスモデルへの転換が必要となります。当社グループは、収益性の安定化を目指し、料金改定の更なる推進や駐輪場運営のDX化など、事業の構造改革を加速させています。さらには、市場ニーズにマッチした利便性の高い無人駐輪場や、多様なモビリティに対応する次世代駐輪場の拡大などサービスの高付加価値化に取り組んでおります。また、2023年11月には本社に加え、駐輪場サポートセンターを長崎オフィス内にも開設いたしました。東京・長崎の2拠点体制により、BCP対策としてご利用者様の更なる安心・安全の確保に努めるとともに、地方拠点の活用によってコスト削減を図ってまいります。

## 社名変更について

2024年1月1日、当社は「NCD株式会社」に社名を変更いたします。コーポレートロゴも新たに、当社グループのパーパス「人の鼓動、もっと社会へ。」、グループビジョン「ワクワク・イキイキと働く環境を通して、お客様や社会と共に、より多くの価値を創造する企業へ」の実現に向け、グループ一丸となってまい進してまいります。株主の皆様におかれましては、引き続き変わらぬご支援を賜りますよう、お願い申し上げます。(社名変更につきましては、5-6ページをご覧ください)

※1 システムで稼働しているソフトウェアやハードウェアなどを、稼働中の資産を活かしながら最新の製品や設計で置き換えること

※2 システムが稼働する環境を物理的な基盤(オンプレミス環境)からインターネット上の仮想基盤(クラウド環境)に移行すること

## Vision 2026

Medium-term management plan

### 2026年3月期の財務目標

#### グループ連結

売上高 **260 億円**

営業利益 **18 億円**

営業利益率 **6.9 %**

ROE **15 %以上**

## 基本方針

- 既存ビジネスの付加価値向上と新しいビジネスの創出による更なるNCDバリューの追求
- 企業価値向上に向けた経営基盤の強化
- 最適なグループ事業体制の再構築

## 株主還元方針

連結配当性向 **30 %以上**

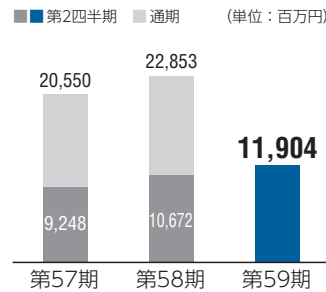
詳細は下記よりご確認いただけます。  
<https://www.ncd.co.jp/ir/management/plan/>



連結業績

売上高

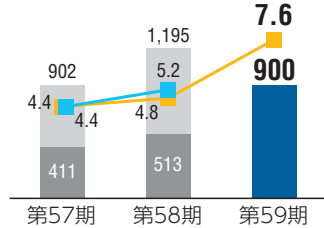
119億4百万円



営業利益／営業利益率

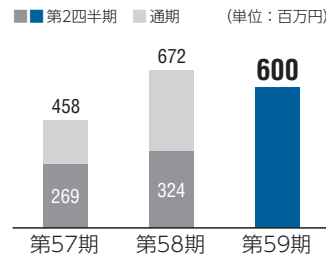
営業利益 (単位: 百万円) 営業利益率 (単位: %)

9億円  
7.6%



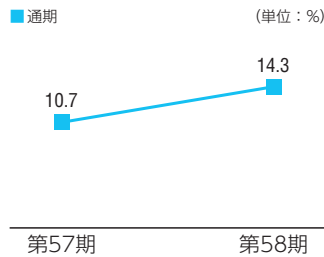
親会社株主に帰属する四半期(当期)純利益

6億円



ROE(自己資本利益率)

14.3% (第58期)



株主還元

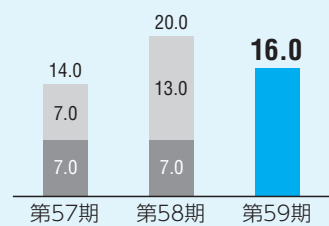
株主の皆様への利益還元を経営の最重要課題の一つと位置づけ、連結業績ならびに将来の事業展開に必要な内部留保の水準等を総合的に勘案し、連結配当性向30%以上を目安に、安定かつ継続的な配当を行ってまいります。

また、株主の皆様の日頃のご愛顧にお応えするとともに、当社株式への投資魅力を高め、より多くの皆様に当社の事業へのご理解とご支援をいただくことと、中長期的に当社株式を保有していただける株主様の増加を図ることを目的に、**株主優待制度**も取り入れております。

→ 裏表紙 株主優待制度のご案内

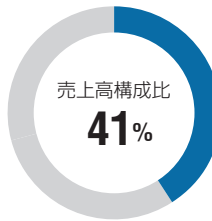
配当金の推移

(単位: 円)

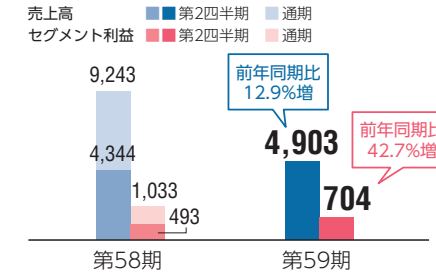


システム開発事業

NCD、ゼクシス、NCDテクノロジー、NCD CHINA(\*)



売上高／セグメント利益 (単位: 百万円)

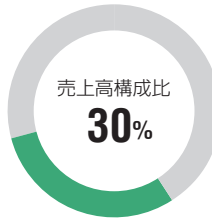


- 主要なサービス
- ・システム構築ソリューション
  - ・パッケージソリューション
  - ・アプリケーション保守・運用ソリューション

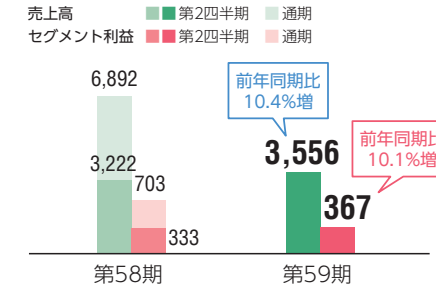
保険会社の新商品のシステム開発案件や製造業の基幹システム刷新案件における業務領域が拡大したことなどにより、前年同期比で増収となりました。利益面におきましては、各種プロジェクト管理が順調で利益を拡大できたことにより、前年同期比で大幅な増益となりました。

サポート&サービス事業

NCD、ゼクシス、NCDテクノロジー



売上高／セグメント利益 (単位: 百万円)

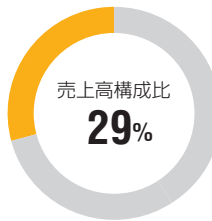


- 主要なサービス
- ・インフラ構築ソリューション
  - ・インフラ保守・運用ソリューション
  - ・業務サポートソリューション

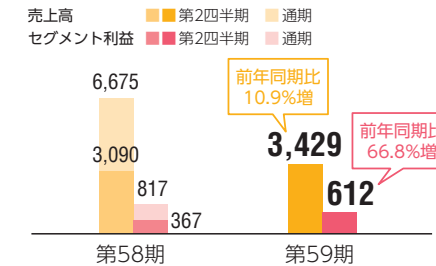
大手企業の情報システム部門のアウトソーシング案件が堅調に推移したことや、保険会社のクラウド関連等の業務領域が拡大したことにより、前年同期比で増収となりました。利益面におきましては、新規顧客の獲得に伴い発生した人件費等の先行コストを回収していることもあり、前年同期比で増益となりました。

パーキングシステム事業

NCD、NCDプロス、NCDエスト



売上高／セグメント利益 (単位: 百万円)



- 主要なサービス
- ・駐輪場の設営・運営・管理受託
  - ・駐輪場管理システムの販売および運営
  - ・自転車関連の総合コンサルティング

各種規制の緩和に加え、天候に恵まれたことにより外出機会が増え、駐輪場利用が増加しました。また、料金改定の効果も寄与し、駐輪場利用料収入が感染症拡大前の水準を大きく上回って推移し、前年同期比で増収となりました。利益面におきましては、駐輪場利用料収入の大幅な増加を受け、駐輪場の採算性が大きく改善したことや、グループ子会社を活用した外部委託業務の内製化に努めたことなども寄与し、前年同期比で大幅な増益となりました。

(\*) NCD CHINA は「天津恩馳徳徳信息系统開発有限公司」の英語表記です。

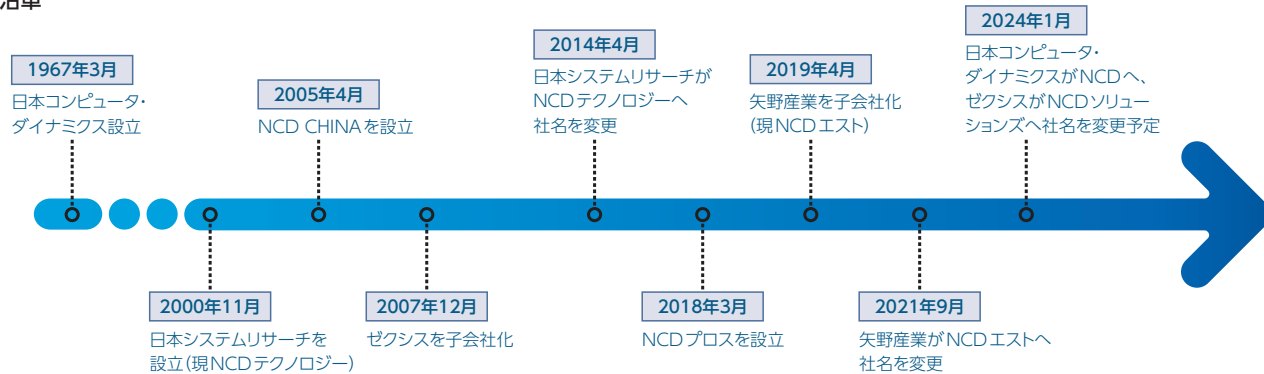
# 2024年1月1日 「日本コンピュータ・ダイナミクス株式会社」は 「NCD株式会社」へ

当社は、ユニークな技術とサービス、ダイナミックな発想により、社会課題を解決していくことで、誰もが生き活きとわくわく胸躍るような明るい社会を実現させることを当社グループの存在意義として「人の鼓動、もっと社会へ。」をパーパスとして制定しております。

この度、新中期経営計画「Vision2026」が始まる節目のタイミングで、創業の精神を継承しつつ、当社の通称として定着している「NCD」（読み:エヌシーディー）を正式社名とし、パーパスの実現に向け今後もグループ企業が一体となり、ブランド価値を向上させ、持続的成長を目指すという決意を込め、2024年1月1日に社名を変更いたします。

また、当社の子会社である株式会社ゼクシスにおいても、グループの一体感をより高め、お客様と共に社会的意義のある新たな価値を創造し、社会へ貢献したいという思いを込め、同日に「NCDソリューションズ株式会社」に社名を変更し、グループ企業の社名を統一いたします。

## ●沿革



## コーポレートロゴの変更について

社名変更に伴い、当社グループのコーポレートロゴを以下に変更いたします。



### ロゴに込めた思い

- 新たなコーポレートロゴは、「人の鼓動、もっと社会へ。」という当社グループのパーパスを形にしたものです
- 波形のマークは、「人の鼓動」を示し、パーパスの実現に向けた決意を表現しています
- ブルーは「地球」、イエローは「チャレンジ精神」を示し、持続可能な社会の実現に貢献するため、チャレンジ精神を発揮していくという思いを込めています

### コーポレートロゴを統一

グループ企業のコーポレートロゴについても以下の通り変更し、一体感をさらに高めてまいります。尚、新たなコーポレートロゴにつきましては、2024年1月1日より、準備ができたものから順次、変更・展開してまいります。

### ●グループ企業のロゴマーク





### サステナブル調達ガイドライン制定

当社グループは、持続可能な社会の実現に向け、社会的責任を果たしていくため、「NCDグループサステナブル調達ガイドライン」を制定いたしました。今後、本ガイドラインの周知を進めるとともに、グループ企業のみならず、サプライチェーン全体での取り組みを推進してまいります。



サステナブル調達ガイドラインの詳細は  
右記よりご確認ください

<https://www.ncd.co.jp/sustainability/society/sustainable-purchasing/>



### 戸田市シルバー人材センターより感謝状を受領

駐輪事業を通して、戸田市シルバー人材センター事業発展のため多年にわたり貢献したとして、感謝状を受領いたしました。今回の感謝状を更なる励みとし、誰もが“生き活き”と輝き、“わくわく”と胸を躍らせることができる社会の実現に向け、地域社会の活性化を支援してまいります。



▲左：OBC代表取締役社長 和田成史様  
右：NCD代表取締役社長 下條治

### OBC Partner Award 2023 を受賞

販売代理店契約を結んでいる株式会社オービックビジネスコンサルタント様より、2022年-2023年シーズンの奉行シリーズの販売活動について東京都における実績を高く評価いただき、“地域優秀賞”を受賞しました。

今後もお客様のDXのご支援や、様々な課題解決に向けて営業活動や連携ソリューションの強化を図り、更なる事業拡大を目指してまいります。

### 「AWS ソリューションプロバイダー」認定を取得

当社は、これまで、世界で広く採用されているクラウドプラットフォームであるアマゾンウェブサービス(以下、AWS)のセレクトティアサービスパートナーとして、AWSに関する高い技術力と実績により、AWS基盤の構築、移行支援、監視運用サービスなどを提供してまいりました。

この度の認定により、AWSのサービスをお客様に再販売する権利が認められ、アカウント管理の負担軽減や問い合わせ窓口等のサポートの提供、利用料の割引など、これまで以上にお客様のニーズに合わせた柔軟かつ高付加価値なサービスの提供が可能になりました。



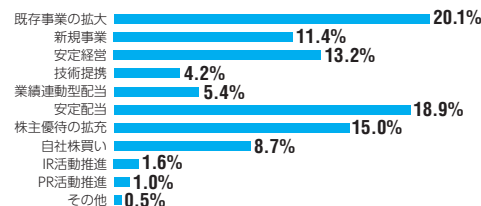
▲これまでのAWSセレクトティアサービスパートナーに続き、AWSソリューションプロバイダーの認定を新たに取得

2023年6月に行いました「株主様アンケート」におきまして、多くの株主様よりご回答をお寄せいただきました。アンケートのご協力につきまして御礼を申し上げるとともに、主な集計結果をご報告させていただきます。頂戴した株主様の貴重なご意見・ご要望は、今後の経営やIR活動の参考にさせていただきます。

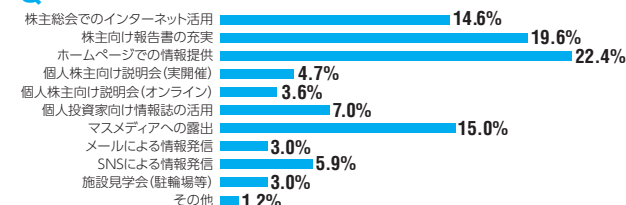
調査対象 …… 全株主3,360名  
調査方法 …… 決議通知に同封(2023年6月28日発送)  
調査期間 …… 2023年6月28日～7月28日  
ご回答数 …… 828名

### アンケート集計結果(一部)

#### Q 当社に期待すること(3つまで)



#### Q 当社の今後のIR活動で充実を希望すること(複数可)



### いただいたご意見・ご感想



広く社会に認知されるような広報活動をして、株価を上げる取り組みをしてほしい。(40代男性)

当社グループでは、株主・投資家の皆様との建設的な対話を通じて中長期的な企業価値の向上を図ることを基本方針とし、様々なIR活動を推進しています。より多くの皆様に当社グループのことを知っていただくための取り組みについても、引き続き、積極的に検討、展開してまいります。



### 今後の主な予定

- 個人投資家向けフリーマガジン「ジャパニーズ インベスター」へ広告を掲載(2024年1月号)
- 東京MXテレビ「東京マーケットワイド」へ出演(2024年1月17日)
- 月刊マネー誌「ダイヤモンドZAI」巻頭IR企画として掲載(2024年1月19日発売 3月号)
- 楽天証券による個人投資家向け説明動画の配信(2024年1月)

詳細等につきましては「その他IR情報」へ掲載予定です。  
<https://www.ncd.co.jp/news/>



### 株主様からのご意見・ご要望のご紹介

#### 社名変更について

社名変更は知名度UPに繋がると期待しています。(70代男性)



#### 中期経営計画/グループビジョンについて

長期的ビジョンのもと、中期経営計画で確実に発展し、業績の向上とともに、株主への還元がすすむこと、株価の上昇を期待します。(70代男性)



働く環境を良くしていくことをビジョンとして挙げ、それを実現し、成長していける企業であるなら、期待できるように思います。(50代女性)



#### 事業について

フルアウトソーシングの推進による顧客の領域拡大に期待しています。(40代男性)



シェアサイクル、キックボードに対応した駐輪場の拡充を望む。(70代男性)



パーパス

## 人の鼓動、もっと社会へ。

私たち一人ひとりが未来に胸をときめかせ、誰もが生き生きと輝ける社会をつくる。

経営理念

## ユニークな技術とサービスにより、明るい未来に貢献する。

NCDグループビジョン — 2032年のありたい姿 —

### ワクワク・イキイキと働く環境を通して、 お客様や社会と共に、より多くの価値を創造する企業へ

基本  
方針

- より収益性の高い企業への変革を図り、NCDグループの持続的成長へ繋げる
- 新しい事業領域への挑戦により、第3の事業柱を構築する
- NCDグループで働くことに幸せを感じ、かつ成長することのできる、“Well-being カンパニー”を目指す

### マテリアリティ ～持続可能な社会の実現に向けて～

NCDグループでは、4つのマテリアリティを掲げ、サステナビリティ活動を推進しています。

#### 1 カーボンニュートラル 実現への貢献

- DXの推進
- 高付加価値な駐輪サービスの提供

#### 2 安心・安全で豊かな 社会づくり

- レジリエントな社会インフラの提供
- 地方創生への貢献

#### 3 多様な人材が 活躍できる社会へ

- 人権の尊重とD&Iの推進
- 働きやすさと働きがいの両立
- 次世代リーダーの育成

#### 4 社会からの信頼を

- ガバナンス体制の高度化
- コンプライアンスの推進
- 適切なリスクマネジメント

### 【第37回 五島列島夕やけマラソン】へ協賛、参加



NCDは、BCP対応として長崎市および五島市にオフィスを構えるとともに、現地での雇用創出やIT人材の育成などを通じた地方創生に取り組んでおり、その一環として、長崎県内で行われるマラソン大会等に協賛しています。

2023年8月に開催された「五島列島夕やけマラソン」では、協賛だけでなく、五島市と一緒に盛り上げたいという想いから、代表取締役社長の下條の他、五島オフィスで働く社員ら10名がランナーとしても参加し、地域の方々との交流を深めました。協賛による公式ホームページへの企業ロゴの掲載等による当社グループの認知度向上を図るとともに、地域社会の一員として共に発展、またそれに貢献できるよう、今後も様々な形で地方創生に取り組んでまいります。



▲下條も5kmの部に参加し、無事に完走

### 会社概要 (2023年9月30日現在)

社名 日本コンピュータ・ダイナミクス株式会社  
Nippon Computer Dynamics Co., Ltd.  
設立年月日 1967 (昭和42) 年3月16日  
資本金 438,750,000円  
事業所 本社(東京都品川区)  
お台場オフィス(東京都江東区)  
江東サービスセンター(東京都江東区)  
福岡オフィス(福岡市博多区)  
長崎オフィス(長崎県長崎市)  
五島オフィス(長崎県五島市)

従業員数 1,104名(連結)  
(注) 上記人数には、契約社員、パートタイマー、嘱託契約の従業員および派遣社員を含みません。

### 連結子会社 (2023年9月30日現在)

社名	設立	所在地	資本金	当社出資比率
株式会社ゼクシス	1969年 3月	大阪市中央区	96百万円	100%
NCDテクノロジー株式会社	2000年11月	東京都品川区	40百万円	100%
天津恩馳徳信息系统開発有限公司 (NCD CHINA)	2005年 4月	中国天津市	600千ドル	100%
NCDプロス株式会社	2018年 3月	東京都目黒区	30百万円	67%
NCDエスト株式会社	1978年 4月	福岡市博多区	10百万円	100%

### 役員 (2023年9月30日現在)

代表取締役社長	下條 治	執行役員	中根 純一
取締役(専務執行役員)	高木 洋	執行役員	刈辺 勉
取締役(専務執行役員)	加藤 裕介	執行役員	安藤 登志夫
社外取締役	宮田 晴雄	執行役員	菊地 貴人
社外取締役	安岡 正晃	執行役員	河崎 勇樹
取締役(常勤監査等委員)	小林 勇記	執行役員	後藤 紀子
社外取締役(監査等委員)	中山 かつお	執行役員	諸口 敦也
社外取締役(監査等委員)	奥野 滋		
社外取締役(監査等委員)	圓角 健一		

### 株式の状況 (2023年9月30日現在)

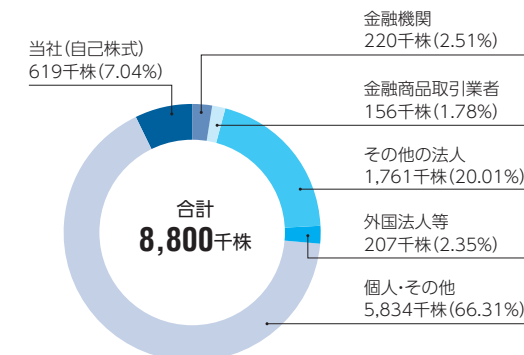
発行可能株式総数 14,000,000株  
発行済株式の総数 8,180,268株  
(自己株式619,732株を除く)  
単元株式数 100株  
株主数 3,231名

### 大株主 (上位10名)

株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
光通信株式会社	604	7.38
株式会社北斗	430	5.25
NCD社員持株会	396	4.84
株式会社UH Partners 2	340	4.16
下條 治	286	3.50
小黒 節子	280	3.42
吉田 知広	263	3.22
山田 正勝	172	2.10
株式会社エスアイエル	157	1.93
下條 芳	155	1.89

(注) 1. 当社は自己株式(619,732株)を保有しておりますが、上記大株主から除いております。  
2. 持株比率は自己株式を控除して計算しております。

### 株式数構成比



## 株主メモ

事業年度	毎年4月1日～翌年3月31日
期末配当金受領 株主確定日	毎年3月31日
中間配当金受領 株主確定日	毎年9月30日
定時株主総会	毎年6月
株主名簿管理人	
特別口座の 口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社
同連絡先	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 東京都府中市日鋼町1-1 電話 0120-232-711 (通話料無料) 郵送先 〒137-8081 新東京郵便局私書箱第29号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
上場証券取引所	東京証券取引所 スタンダード市場 (証券コード4783)
公告の方法	電子公告により行います。
公告掲載URL	<a href="https://www.ncd.co.jp/">https://www.ncd.co.jp/</a> (ただし、電子公告によることができない事故、 その他のやむを得ない事由が生じた時には、 日本経済新聞に公告いたします。)

### IRメール配信サービスのご案内

ご登録はこちら

<https://rims.tr.mufg.jp/?sn=4783>

三菱UFJ信託銀行株式会社が提供するサービスを利用しています。ウェブサイトに記載のご利用条件をご確認の上、ご利用をお願いします。



### 会社・事業紹介動画のご案内

当社ウェブサイトにて公開中

<https://www.ncd.co.jp/company/video/>

英語・中国語・韓国語にも対応しています。



### 株主優待制度のご案内

株主の皆様の日頃のご支援にお応えするため、以下の株主優待制度を実施しております。

#### 対象となる株主様

毎年9月30日現在、当社株式1,000株以上保有いただいている株主様  
**贈呈時期**

本冊子に同封して贈呈

#### 株主優待制度の内容（贈呈品：クオカード）

保有株式数	継続保有期間	
	3年未満	3年以上
1,000株以上 3,000株未満	2,000円分	3,000円分
3,000株以上 5,000株未満	3,000円分	5,000円分
5,000株以上	5,000円分	7,000円分

#### 継続保有期間条件について

- ・年1回毎年9月末を基準日とし、同日付の当社株主名簿の記録により確認できる株主様を対象といたします。
- ・継続保有判定は、**半期ごと（毎年3月末および9月末）の当社株主名簿に、「同一の株主番号」で連続して7回以上記録された株主様**を、継続保有「3年以上」の対象といたします。
- ・「同一の株主番号」記録の連続性が中断された場合には、継続要件を満たさないものとして取り扱います。例えば、保有されていた当社株式の全部を一旦売却した後に、3月または9月の権利付き最終確定日までに株式を買い戻した場合などが該当します。

当社のウェブサイトでも財務データ、  
企業情報などを開示しております。  
ぜひご覧ください。

<https://www.ncd.co.jp/>

NCD IR

検索

## 日本コンピュータ・ダイナミクス株式会社

〒141-0031 東京都品川区西五反田四丁目32番1号

TEL 03-5437-1021

<https://www.ncd.co.jp/>



本冊子に関するお問い合わせ先 総務部 TEL 03-5437-1021